

プロネクサスベトナム現地レポート

(2022年11月 VOL.40)

プロネクサスベトナムが、2022年10月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
 今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

【FDI 動向の概要（2022年1月1日～10月20日）】*10月の数値は20日時点の値

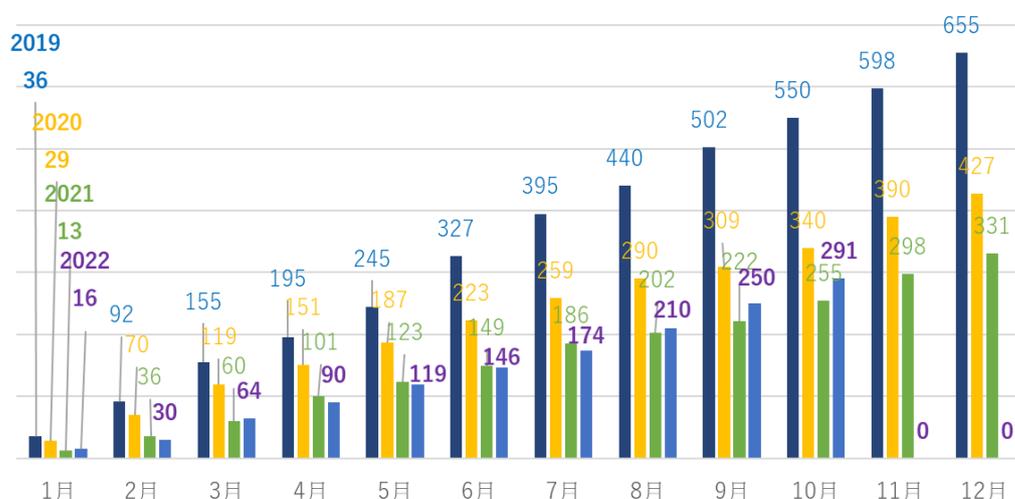
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2022年1月1日から10月20日までのFDI投資額は約**41億9,000万USドル**（*2021年同期間：約33億8,000万USドル、123.8%）
- 日本の2022年1月1日から10月20日までのFDI投資件数は、**472件**（*2021年同期間：425件、111.1%）
- 証券投資件数を除いた日本の2022年1月1日から10月20日までのFDI投資件数は、**291件**（*2021年同期間：255件、114.1%）

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2022年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

世界の対越投資動向

2022年10月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、103の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約53億
2位	日本	約42億
3位	韓国	約39億
4位	中国	約17億
5位	香港	約13億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	1,665
2位	シンガポール	603
3位	中国	584
4位	日本	472
5位	台湾	285

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2022年1月1日～10月20日）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 都市部のインフラ建設プロジェクトで9億4,100万USドル追加投資（シンガポール）2022/1
- ▶ 電子機器製造の工場プロジェクトで3億600万USドル追加投資（香港）2022/1
- ▶ Samsung Electro-mechanics Vietnam Coのプロジェクトで9億2000万USドル追加投資（韓国）2022/2
- ▶ レゴ・グループによるビンズオン省での新工場の設立プロジェクトで約13億2,000万USドルの新規投資（デンマーク）2022/3

上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較し61.9%程度で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

<10月の投資状況>

2022年10月までに申請された【登録資本金】の総額は、4,352億USドルであり、これに対して実際に払い込みされた【払込資本金】の総額は2,690億USドル（61.9%）になっております。

*申請時に登録を行う【登録資本金】全額を支払う必要はなく、実際に払い込まれた資本金を【払込資本金】として区別します。なお、【登録資本金】と【払込資本金】が一致している場合、親子ローンなどの借入を行うことができないため、投資を行う場合は注意が必要です。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は 1,570 件（対前年比 114.2%程度）、金額は 99.3 億 US ドル（対前年比 76.3%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、880 件行われ（対前年比 113.4%程度）、金額は 87.4 億 US ドル（対前年比 123.3%）に達しました。

<OECD「ベトナムの経済成長率は今年も来年も+6%を上回る」と予測>

OECD（経済協力開発機構）は、ベトナムの経済成長率は今年も来年も+6%を上回るとの予測を発表しました。この数字は、世界の企業がサプライチェーンを多様化するために、ベトナムに直接投資をすることで達成されるとの見方を示しました。ベトナムはイノベーション、デジタルトランスフォーメーション(DX)、科学技術の各分野で質の高い海外直接投資(FDI)を誘致し、雇用を創出して人々の生活を改善し続けています。

また、**ベトナムは新型コロナウイルス関連の不況から逃れることができた世界でも数少ない国の一つであり、パンデミックの 2 年間、ベトナムの経済成長率は 2020 年には 2.91%、2021 年には 2.58% に達しました。**今年前半、ベトナムは製造業とサービス業のおかげで、予想以上に早く回復したと見られています。

OECD のマティアス・コーマン(Mathias Coma)事務総長は、「ベトナムはインフレのような外部からの影響に対する回復力を示しています。食料品やエネルギー価格の上昇により、世界のインフレ率は上昇傾向にありますが、ベトナムはそれを抑えているため、ベトナムのインフレ率も OECD 加盟国より低いです」と述べました。

なお、「ベトナムは開放政策を既に推進していますが、今後は持続可能な成長を確保するために、人口の高齢化に伴う労働者への圧力を軽減する対策や年金福祉システムの改革、サービス市場のさらなる自由化、ジェンダーの不平等や貧困格差の改善が必要となります」とコーマン氏は指摘しました。

*引用元:

VIET JO 「ベトナムの 22～23 年の経済成長率は+6%超、OECD が予測」
<https://www.viet-jo.com/news/economy/221020075404.html>（参照
2022/10/20）

VnExpress 「Vietnam's growth to surpass 6% in 2022, 2023: OECD」

<https://e.vnexpress.net/news/economy/vietnam-to-surpass-growth-expectations-in-2022-2023-oecd-4525082.html> (参照 2022/10/18)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）11月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。